

巨獸村

R-18
ADALUT ONLY





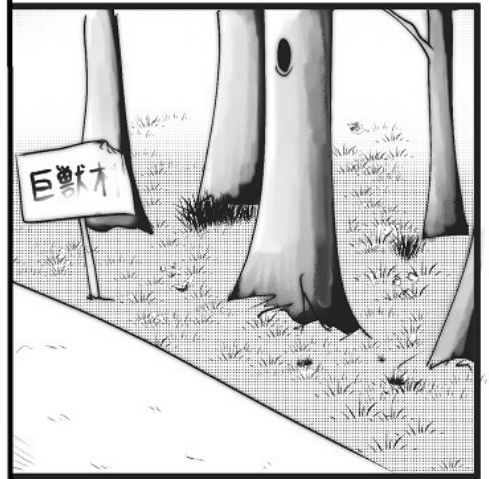




「巨獣村」
都市伝説の一つである
オカルト話だ
某県の某市の山奥に
それは存在するらしい



その村にはとても巨大な獣人が
住んでいると言われ、その村を
探しに行ったら二度と戻れない
という曰く付きの噂がある



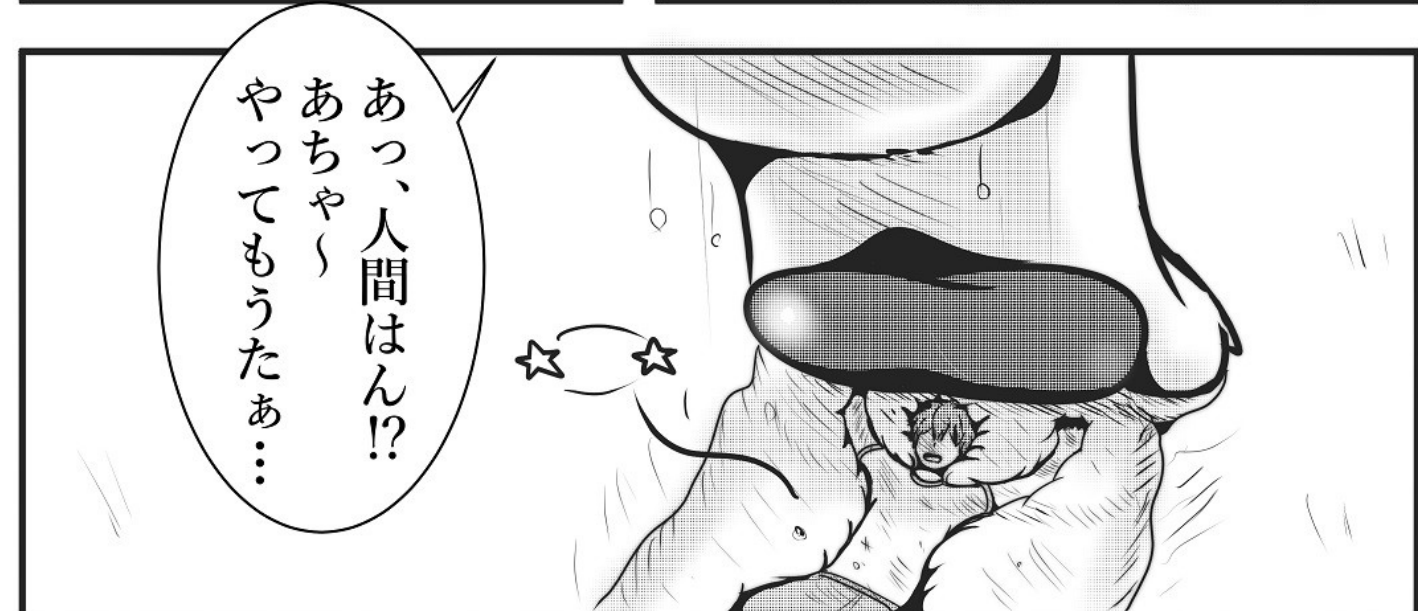
辛い毎日が嫌になり、もう人生に
疲れたから幕を下ろそうと思った
でもどうせ終わるなら
そのオカルト話の真偽でも確かめて
みてからでもいいかなと思い
俺はその村を目指してみた







あら…
何か踏んでもうたやろか？



あつ、人間はん!!
あちやゝ
やってもうたあ…



あ、あれ…？
ここは？

ガバッ

？



ううん…



巨獣人
本当に居たんだ…

でけえ～…

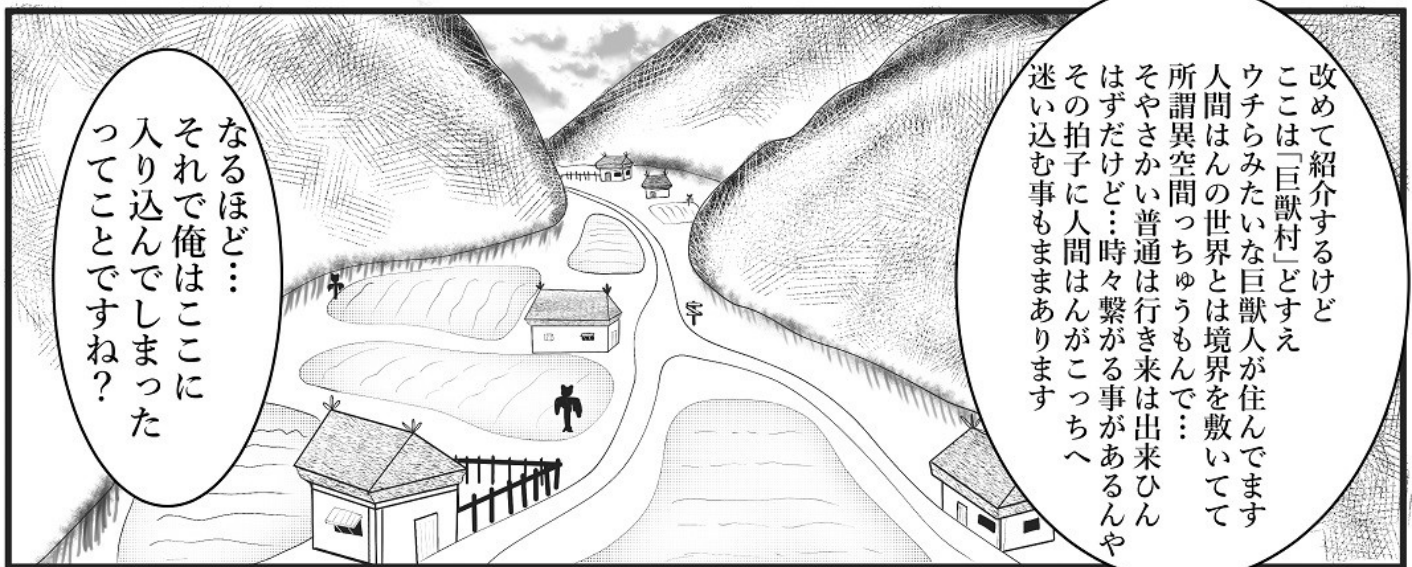


あ、目え覚めた？
よかったあ

デーン！



さっきは間違うて
踏んでしもうて
堪忍なあ
人間はん
足元に居られると
見えへんさかい…



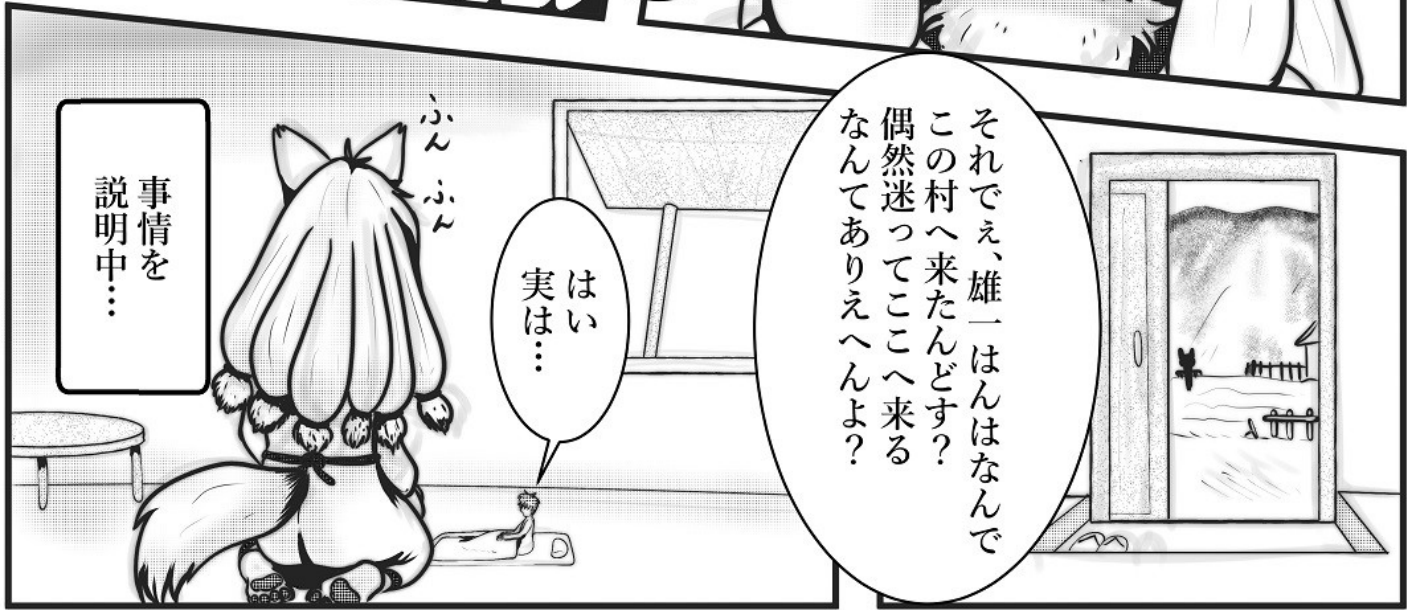
改めて紹介するけど
ここは「巨獣村」どすえ
ウチらみたいな巨獣人が住んでます
人間はんの世界とは境界を敷いてて
所謂異空間っちゅうもんで…
そやさかい普通は行き来は出来ひん
はずだけど…時々繋がる事があるんや
その拍子に人間はんがこっちへ
迷い込む事もまあります

なるほど…
それで俺はここに
入り込んでしまった
ってことですね？



申し遅れました
うちは雪乃^{ゆきの}です
よろしゅうおたのもうします

は、はあ……よろしく
お願いします……
俺は雄一です



それでえ、雄一はんはなんで
この村へ来たんです？
偶然迷ってここへ来る
なんてありえへんよ？

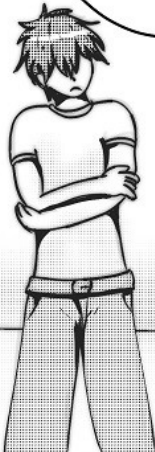
はい
実は……

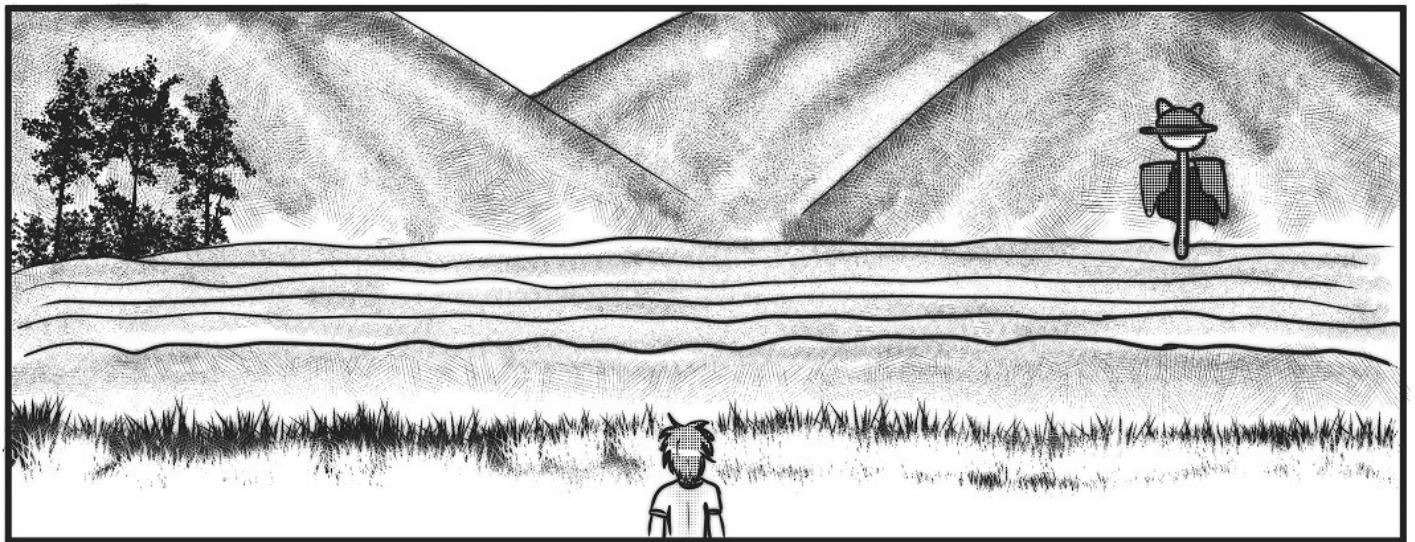
事情を
説明中……



そないな辛い思いを
してはったんですか
だからこないな事を……
それで、これから先は
どないするん？

そうですね……
せっかく来たんで
この村を見学
してみます







道行く村人に踏まれ：
村の子供たちに見つかり
玩具扱いされ...と
散々であった



…大丈夫？
だから危ないって
言うたのに…



ボロ…



それ…
確認するの
今更過ぎまへん？

1つ確認させて下さい…
俺は何で潰されても
生きてるんでしょか？



ざっくり説明しますけど
この村は異空間やけどたまに
人間はんが迷い込む事があるって
さっき言うたやろ？
それで小さい人間はんを
踏み潰したりしても圧死せーへん
ように村全体におまじないが
かかってるんですわ
そのおかげで潰されても
衝撃が軽減されて精々気絶する
程度で済むんですわ
あらゆる衝撃が軽減されてるんで
高いところから転落しても
弾き飛ばされても死にまへん



それともう一つ
この村へ来た人間はんは
二つの選択がありますわ
一つはこの村をそのまま出る事

村の外へ向かえばそのまま
元の世界に帰れるんやけど
ここへ来た記憶は綺麗さっぱり
なくなるんや
この村を目指した事自体も
忘れるんどす



その選択は無い
ですわね：
事情は説明した通り
もうあっちの世界に
未練は無いんですよ



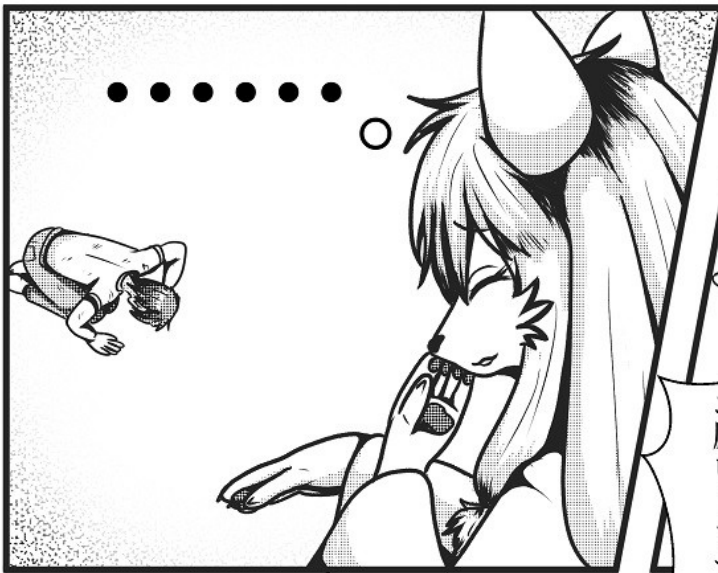
じゃあ後はもう一つの選択
この村で暮らすっちゅう事
になるんやけど：
うちと一緒に暮らすのなら
村の掟に倣って
うちと番いになる必要が
あるんですわ



それとも
番いが無理やって
言いはるんなら
うちの奴隷になって
一生うちの玩具として
暮らすっていう選択も
あるんやけど：
ど

どちらを選ぶのん？





なーんて！
冗談やで冗談

シユバツ!!

是非ともそれ
でお願いします!!



何というか...
村で色々遭った時に
何か目覚めてしまった
ようで...そっちの気に

...ほんまに
ええのん？



うふふふ...

そうどすか
変わったお人やねえ
じゃあうちの好きに
させてもらいますえ？
まず手始めに...

ガシッ!





ふふ…もう雄一はんは
うちの奴隷なんよ？
好き勝手にやらせて
もらおう言うたやろ？



ま、また？



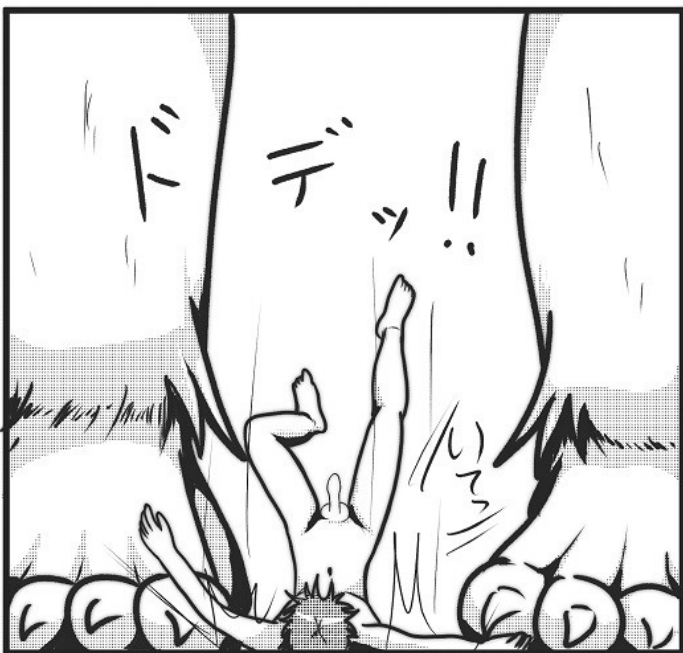
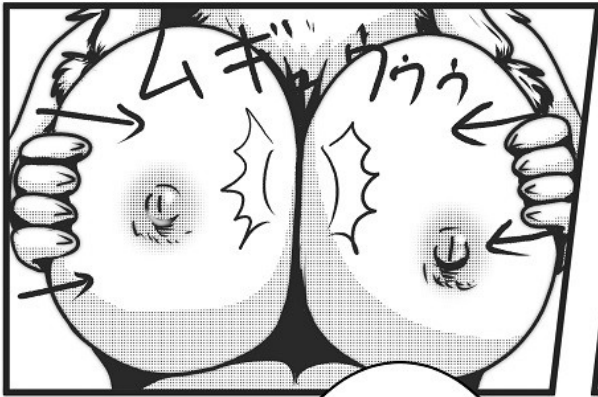
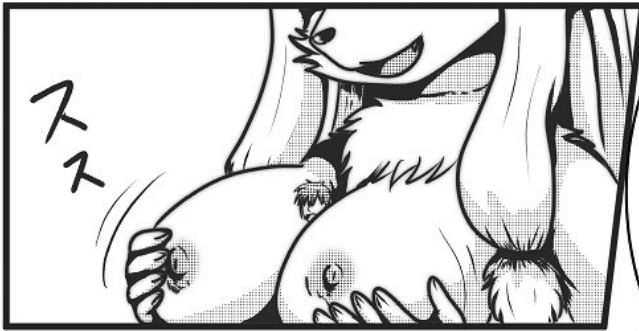
ズボッ



スフ



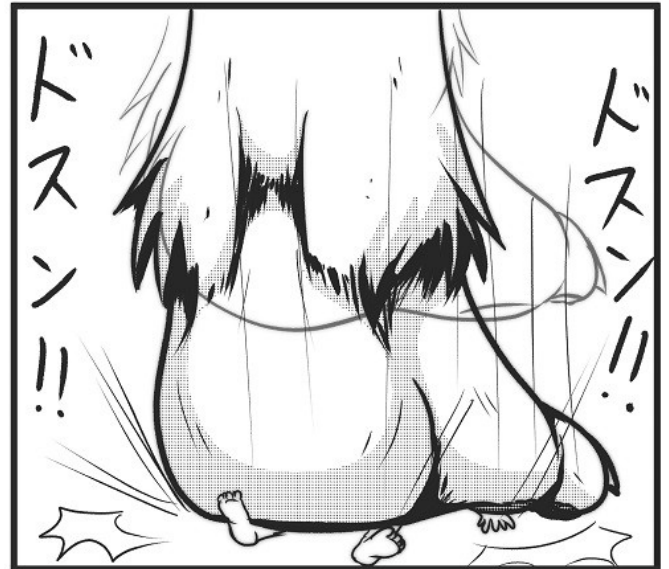
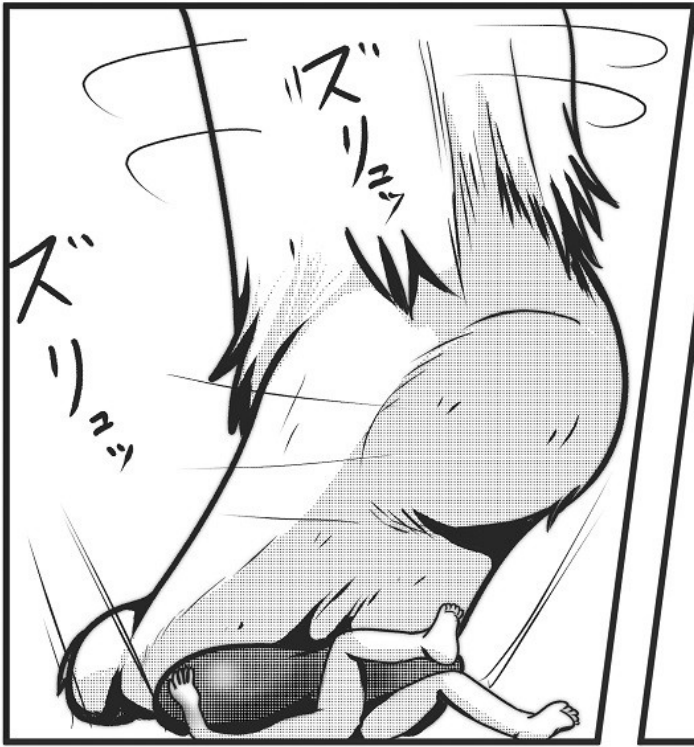
ほらあ
全身パイズリ
やったるね♪

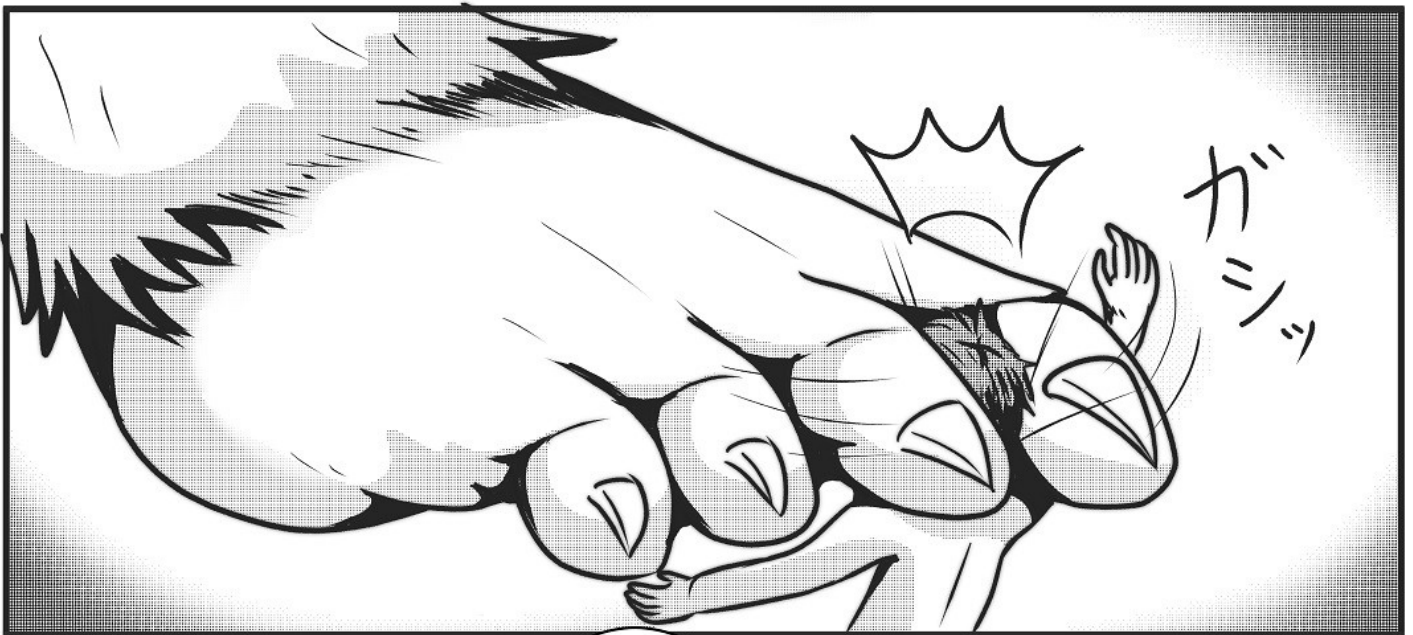
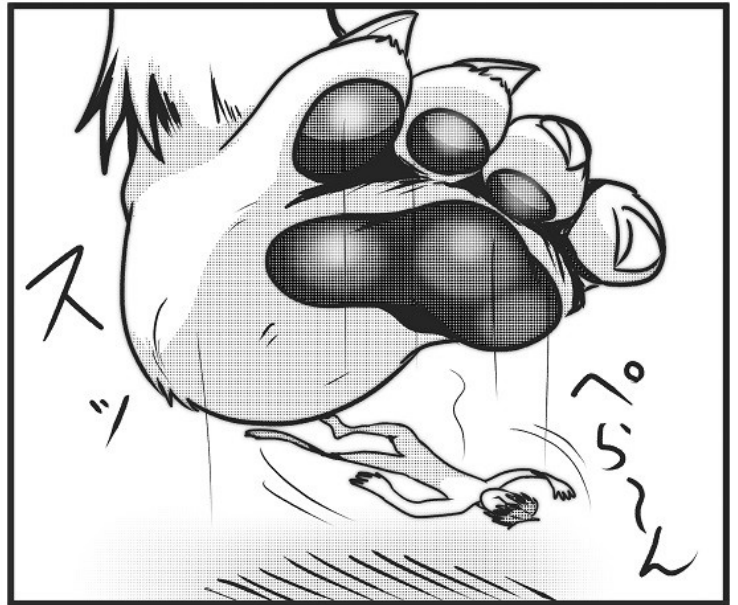


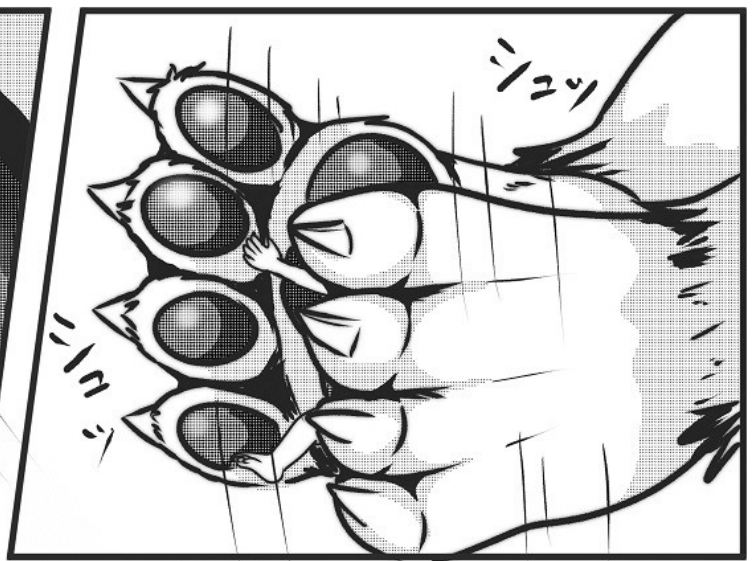


おつきな足でプチッと踏まれるの好きなんやろ? 村でも何度も踏まれてみたいやしうちが思いきり踏みにじったるから楽しんでおくれやす

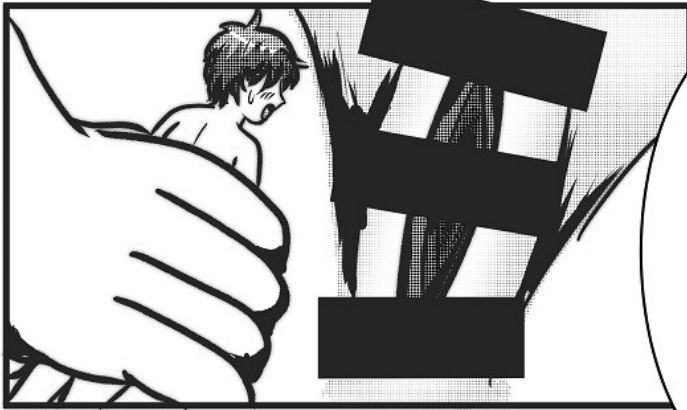








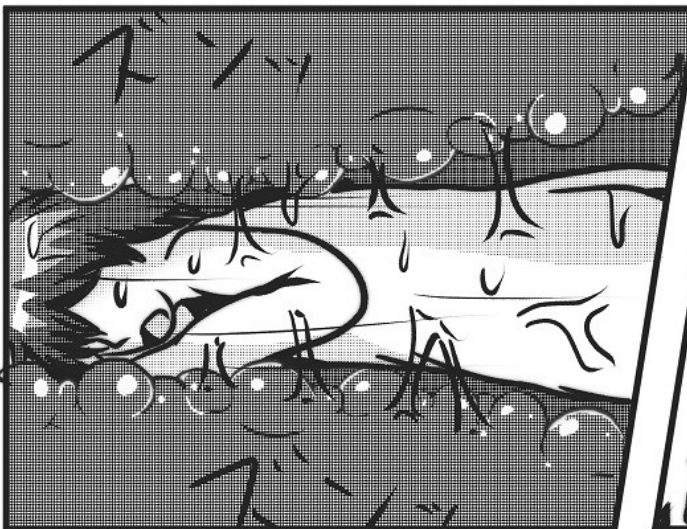


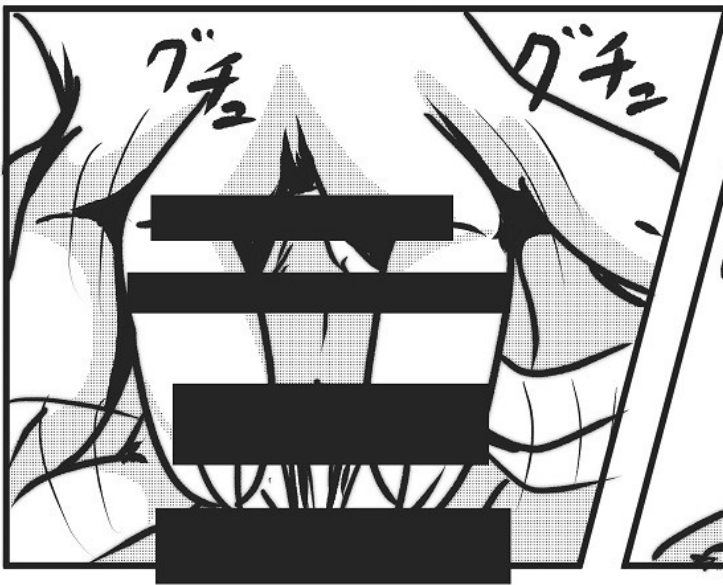


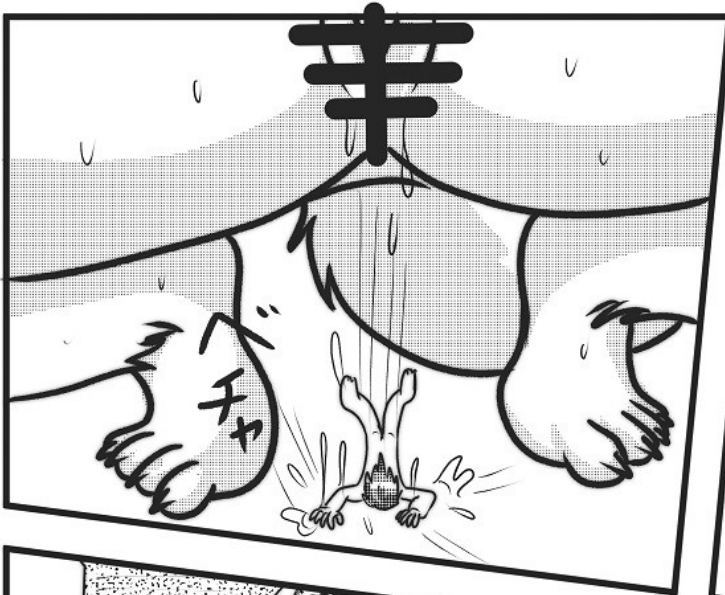
それじゃあ今度は
うちを気持ちよく
しとおくれやす



うちの秘密の場所に
入れたるね
いっばい動いて
ちょうだいな♪







これからはずーっと
よろしゅうたのんますわ
うちの大事な…玩具としてなあ



それからの日々は
まさに人間としてでなく…

雄一はんって
どんな味するん？

うちの腋の具合は
いかかですか？
たっぷり汗かいたさかい
ええ香りしてるやろお

まさに雪乃さんの玩具…
奴隷といった扱いを受けた

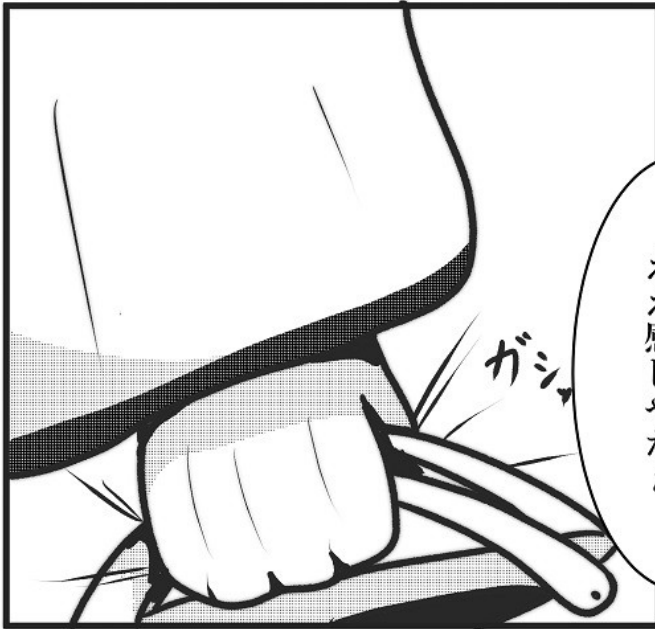
けれども、喜びと幸せを
感じれる日々であった

座布団になった気分は
どうでっしゃるか？
文字通り、うちの尻に
敷かれとるって感じやね

ズッシリ



Xキッ



ふふっ
ええ感じやなあ

ガシ



さあ！今日は一日せわしないさかい
沢山歩きますえ
その間はずーっとうちの足下で
ゆっくりしとってくださいな♪

おしまい

ズッ

後書き

こんにちは、makoと申します。今回は巨ケモさんテーマの漫画を

描きました。大きなメスケモお姉さんに好き放題やられて

玩具のように扱われ蹂躪される展開を描いてみました。

デカおっぱいに挟み込まれたりアソコに入れられて

ディ〇ド扱いされたり巨足で踏み潰されたり…

タイトル等の元ネタについては、とある都市伝説を参照に
しております。わりと有名なオカルトらしくてタイトル名で

ピンとこられる方もいらっしゃるかと思います。

あと今回は新型コロナウイルスの影響もあり残念ながら
エア新春けもケット7というオンライン上でのイベントに
なり通販委託及び電子書籍でのみでの頒布となりました。

それでも購入して手に取っていただき

本当にありがとうございました。

次のイベントは無事に開催されることを祈って…

それでは、この辺で！

今回は購入ありがとうございました！

発行日	2021/1/24
発行	ケモノの足跡
発行者	mako
連絡先	mas2253@yahoo. co. jp
印刷所	(株)ポプルス
pixivID	2122587
twitter	@mako_030201



